

無線 LAN 環境の整備

2009年4月より池袋キャンパス内5ヶ所の建物で屋内無線 LAN サービスを開始した。

多種多様な無線 LAN システムのなかで選定にあたり、教室での利用を想定し、アクセスポイント1台に対して多数のクライアントが接続してもより安定した通信が行える機器を導入するため、実際に教室で数十台のクライアントを設置し接続試験を行った。外来波の影響を確認し、同一環境下にて CISCO、Aruba、シングル・チャネルの Meru で動作試験を実施する。

ユーザの使用面では、多くの商用サービスでウェブ認証が採用されているがスマートフォンなど小型モバイル端末での接続を考慮し 802.1x 認証を可能とした。これにより利用者数も増え、無線 LAN エリア外での要望も高まる。

翌年 2010 年 4 月中旬、それまでの 5 ヶ所（8 号館、10 号館、11 号館、12 号館、14 号館）に加え、屋内無線 LAN サービスを拡張する。

○拡張エリア

本館、2号館、3号館、7号館、7号館B棟、太刀川記念館、第一食堂、5号館、6号館、16号館、4号館、9号館、13号館、ウィリアムズホール

シンポジウムなど学内施設で学外者への無線 LAN 提供にはゲストアクセスの仕組みを用意、あらかじめ場所や時間の利用予約が必要だが、すでに数件の利用実績もあり、好評である。

2010 年度末には、新座キャンパスの新棟でサービス開始予定。利用者は両キャンパスで共通の設定にて利用することが可能となる。

